

2015年度

JICA研修コースの実績紹介

「インド省エネルギー技術1」コース



2016年2月15日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

1. 研修コースの紹介

1) コースリーダー / 大和 俊介



2) 研修コース 名

• 和文： 国別研修 インド省エネルギー技術1

• 英文： Energy Conservation Techniques for India JFY2015

3) 研修受入れ期間： 2015/9/24 ~ 2015/11/05

4) 参加研修員： 11名

(政府1、発電会社2、コンサル・監査機関8)

2. 研修目標

案件 目標

火力発電効率維持管理技術と省エネに必要な知識・管理能力とを習得し、発電所の省エネ、顧客の省エネに関する課題を解決する方策を提案する。

自国で活動



日本で研修・習得

(単元目標Ⅰ)

- 火力発電効率管理技術と設備診断技術を理解し、発電主機の効率維持や補機類の安定稼動に向けた活動を自主的に行えるようになる。

(単元目標Ⅱ)

- 電力業界に身を置く研修員が汎用的な省エネ技術を理解し、電力会社の所内電力削減や顧客の省エネ活動推進をリードできるようになる。

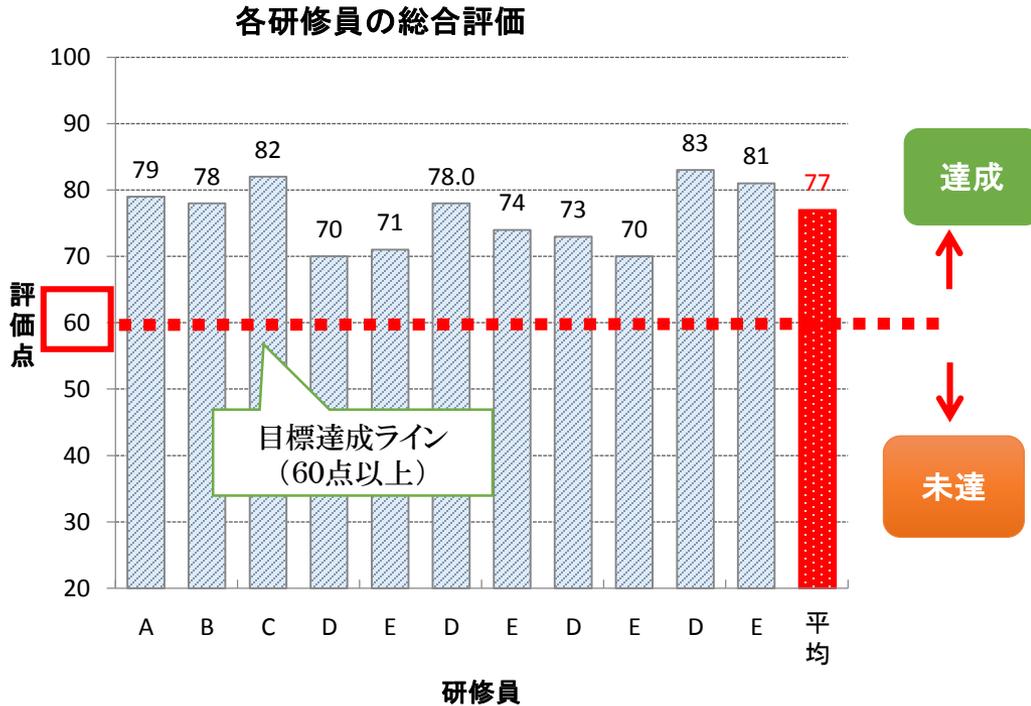
(単元目標Ⅲ)

- 習得した省エネ技術、発電効率管理技術を適用するための現実的なアクションプランを作成し、所属組織に提案できる。



3. 研修員の達成度

1 総合評価



評価結果は、全員が達成目標をクリアーした

2 評価指標

- 1) 研修により得た知見の達成度評価
 - ・研修後の知見レベルを把握し、指標の一つとし、分野毎のテストで評価。
- 2) アクションプランの評価
 - ・具体的なテーマを掲げ、現状の問題点を整理して課題解決策と行動計画をAPとしてまとめて発表

上記二つの指標の評価結果を合計し、平均60点以上(100点満点)を案件目標の達成者とする。

◆研修員のコメント

今回の研修コースは、大変よく計画されており我々の期待以上のもので、大変感謝しています。日本の人々の省エネの考え方、労働文化について理解することができました。

4. 研修に関する所見

今回は研修員の構成がコンサル系に偏ったため、発電会社向けの本コースのカリキュラムとのミスマッチが心配されたが、研修員からの不満は聞かれず概ね高評価を得る事ができました。それぞれが講義や見学の中で自分のテーマ、関心事を見つけ学んでいた姿は印象的でした。

逆に以下の点でコンサル系の研修員の重要性を認識することにもなりました。

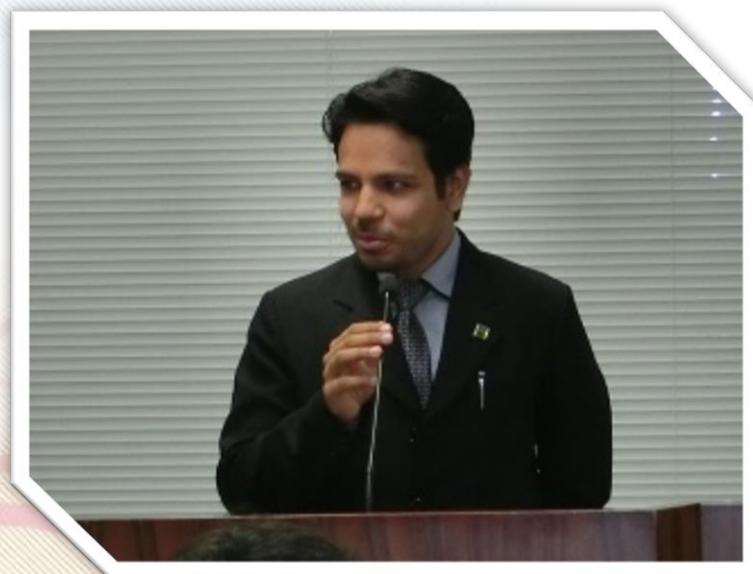
- ①広い顧客を相手に行っているコンサル系の研修員は、発電系の研修員より省エネ推進と言う意味では、より大きな影響力を持っている。
- ②今回アクションプランの中には保全の重要性を取り上げたものが多かったが、これは従来の運転技術中心の発電系の研修員には見られなかった傾向で視野の広さが窺えた。

今後の研修員構成を考える場合、発電系とコンサル系の割合は本コースのカリキュラム構成を十分に活かし、かつお互いが刺激しあえると言う意味で、どちらがに偏るのではなく半々程度が良いと思われます。

最後に、JICAスタッフの周到な気配りや優秀なコーディネーターのお蔭で無事本コースを完了することが出来ましたことに感謝申し上げます。

5. 研修員スピーチ

研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたサイニさん(インドから参加)

Mr. Sarabjot Singh Saini (通称サイニさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

JICA九州研修業務課 天池課長、

北九州国際技術協力協会 上野副理事長、

JICA、KITAの職員の皆様、

インドの研修員仲間

ご列席の皆様、



上野副理事長より修了証書を授与された
サイニさん



JICAを通じて、このインド省エネルギー技術コースを計画くださったことに、日本・インド政府に感謝を述べたいと思います。



研修員は当初の予定では15人でしたので、この研修をやり遂げた我々11人はとても運が良かったと思います。インドを出発した時は、講義や対話型の工場見学を通して、日本の発電所における省エネルギーに関する様々な技術の深い見識をこの研修が与えてくれるものと思っておりました。





この研修コースはとてもよく計画・調整されており、我々の期待以上のもので、JICAとKITAには、とても感謝しています。

さらに、日本の様々な都市への旅を通じて、豊かな日本文化を体験し、日本の人々の省エネの考え方、労働文化について理解することができました。

我々11人は、ここ日本で人々の省エネに対する積極的な態度を目の当たりにしました。日本人の献身、勤労、規律はこの国の発展に貢献する重要な原動力であると思います。





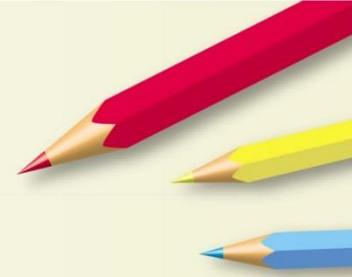
それゆえ、技術的ノウハウとは別に、とても感動的なものとして人々と過ごした体験が思い起こされます。



私達が訪れた一つ一つの場所が高いレベルのおもてなしをしてくれたことは言うまでもありません。工場見学、観光、地域のお店などあらゆるところで温かい歓迎を受けました。

この45日間我々を支えてくださった大和さん、松本さん、丸尾さんには特に感謝の意を述べなければなりません。この三人は最高の先生たちで、本当に刺激を受けました。





最後に、ここで得た知識は、我々全員の職務、私生活の両面できっと役に立つことと思います。帰国後はエネルギー効率を促進し、省エネルギーを生活様式にしたいと思います。もう一度、JICA, KITA, 愛すべきコーディネーター、KICスタッフ、講師の皆さんに、豊かな人生経験をさせてくださったことに感謝いたします。

6. 研修思い出アルバム

JICA九州で講義



研修先訪問



スライドショー

クリックして写真集を
ご覧下さい

JICA九州で講義



研修先訪問

